

浜松市長意見に対する都市計画決定権者の見解  
 (対象事業:(仮称)浜松湖西豊橋道路)

No.	環境要素の区分	意見等	都市計画決定権者の見解
1	000 全般的事項	<p><b>【道路のルート、構造等】</b>            本環境影響評価方法書（以下、「方法書」という。）では、具体的なルートの位置や道路構造、工事計画等が明らかにされていないことから、環境影響評価準備書においては、これらを明確にすること。加えて、環境の保全の配慮に係る検討の経緯として、調査・予測地点及びその選定理由を詳細に記載すること。</p>	<p>具体的なルート位置や道路構造、工事計画については、環境影響評価準備書（以下、「準備書」と記載。）において記載するとともに、これらを踏まえて検討した調査・予測地点及びその選定理由を詳細に記載します。</p>
2	000 全般的事項	<p><b>【最新の知見の導入】</b>            今後の事業計画の検討に当たっては、環境保全に関する最新の知見を踏まえ、環境影響の回避又は低減に努めること。</p>	<p>今後の事業計画の検討に当たっては、環境保全に関する最新の知見を踏まえ、環境影響の回避又は極力低減に努めます。</p>
3	000 全般的事項	<p><b>【地域住民等に対する情報提供】</b>            現地調査の実施に当たっては、地域住民、土地所有者及び関係団体等に対して、積極的な情報提供や丁寧な説明を行うこと。</p>	<p>現地調査の実施に当たっては、地域住民、土地所有者及び関係団体等に対して適切に情報を提供するとともに、丁寧な説明を行います。</p>
4	000 全般的事項	<p><b>【事業計画の見直し】</b>            今後の事業計画の検討に当たって、Ⅱ個別事項について、環境影響を回避又は十分に低減できない場合には、道路のルート、構造等の見直しを検討すること。</p>	<p>今後の事業計画の検討に当たっては、Ⅱ個別事項について、環境影響評価の結果や専門家等による助言等を踏まえ、社会面や経済面のほか、環境面にも事業者により実行可能な範囲内でできる限り配慮します。</p>
5	000 全般的事項	<p><b>【環境影響評価の項目選定、調査・予測及び評価の手法】</b>            事業計画を具体化する過程で、方法書で想定していなかった環境影響要因や、新たに環境保全に配慮すべき事項等が明らかになった場合には、必要に応じて学識経験者等専門家の助言を受けただうえで、環境影響評価項目を追加し、調査・予測及び評価を行うこと。</p>	<p>事業計画を具体化する過程で、方法書で想定していなかった環境影響要因や、新たに環境保全に配慮すべき事項等が明らかになった場合には、必要に応じて学識経験者等専門家の助言を受けただうえで、環境影響評価項目を追加し、適切に調査・予測及び評価を行います。</p>

**浜松市長意見に対する都市計画決定権者の見解**  
(対象事業:(仮称)浜松湖西豊橋道路)

No.	環境要素 の区分	意見等	都市計画決定権者の見解
6	011 大気汚染 012-1 騒音 013 振動	都市計画対象道路事業実施区域（以下、事業実施区域）及びその周辺には、複数の住居や学校等が存在することから、大気汚染物質や騒音・振動等による生活環境への影響が懸念される。このため、道路のルートを検討にあたっては、適切に調査・予測及び評価を行い、住民の生活環境への影響を回避又は低減するように努めること。	道路のルートの検討にあたっては、大気質、騒音・振動等を適切に調査・予測及び評価を行い、住民の生活環境への影響を回避又は低減するように努めます。
7	021 水質汚濁	事業実施区域及びその周辺には、複数の河川が含まれ、事業の実施に伴い発生する濁水により、河川の水質の悪化等が懸念されることから、工事中の環境影響について適切に調査・予測及び評価すること。	事業実施区域における公共用水域を対象として、工事中の水の濁りの環境影響について適切に調査・予測及び評価を行います。
8	021 水質汚濁	浮遊物質量や濁度等を調査するにあたり、通常時と降雨時では数値が大きく変化することから、調査日の選定には天候等を勘案し、必要に応じて通常時に加えて降雨時の影響を予測及び評価すること。	浮遊物質量や濁度の調査にあたっては、必要に応じて通常時に加えて降雨時の影響についても予測及び評価を行います。
9	051 動物 052 植物 053 生態系	動物、植物及び生態系について、道路の存在により影響を及ぼす可能性があることから、最新の知見・事例等の収集を行うとともに、適切に調査・予測及び評価を行い、影響の回避又は低減措置を講じること。	動物、植物及び生態系にかかる道路の存在による影響については、最新の知見・事例等の収集を行うとともに、適切に調査・予測及び評価を行い、影響を回避又は低減するように努めます。
10	051 動物 052 植物 053 生態系	供用後の自動車の走行により、ロードキルの発生が懸念されることから、可能な範囲で情報を収集し、適切に調査・予測及び評価すること。	供用後の自動車の走行によるロードキルについては、可能な範囲で情報を収集し、適切に調査・予測を行います。

**浜松市長意見に対する都市計画決定権者の見解**  
(対象事業:(仮称)浜松湖西豊橋道路)

No.	環境要素 の区分	意見等	都市計画決定権者の見解
11	061 景観	事業実施区域には、浜松市景観形成基本計画において、三ヶ日のみかん山や里山等の身近な自然環境や緑地景観を保全し、地域の魅力的な景観として活用するとしている三ヶ日地域が含まれていることから、工事中及び供用後の環境影響について適切に調査・予測及び評価を行い、これらの景観資源等へ事業が及ぼす影響を回避又は低減するよう努めること。	三ヶ日のみかん山等の景観資源については、工事中及び供用後の環境影響について適切に調査・予測及び評価を行い、影響を回避又は低減するよう努めます。
12	071 文化財	事業実施区域には、静岡県指定名勝「大福寺庭園」や静岡県指定有形文化財「木造釈迦如来坐像」他を所蔵する華蔵寺、浜松市指定天然記念物「玉洞寺のサザンカ」、浜松市指定史跡「西山古墳」、国指定特別天然記念物「カモシカ」の生息域を含むこと、「釣古墳群」や「日比沢城跡」など多数の埋蔵文化財包蔵地が所在することから、適切に調査・予測及び評価を行い、影響の回避又は低減措置を講じること。	事業実施区域に含まれる文化財については、適切に調査・予測及び評価を行い、影響を回避又は低減するよう努めます。
13	091 廃棄物	事業の実施に伴う建設発生土を抑制するとともに、発生量を予測した上で、処理に係る工事中の環境影響を適切に予測及び評価すること。	事業の実施に伴う建設発生土を抑制するとともに、発生量を予測した上で、処理に係る工事中の環境影響を適切に予測及び評価を行います。